

発行 神奈川県青少年指導員
連絡協議会
発行者 鈴木勝雄
連絡先 045-210-1111(代)
神奈川県青少年課内
印刷 朝日オフセット印刷株式会社

活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供

つばさ

神奈川県青少年指導員だより

青少年指導員の力



県協議会
会長
鈴木 勝雄

第22期神奈川県青少年指導員連絡協議会会長を前期に引き続き、今期も務めさせていただきます。これから平成22・23年度の2年間どうぞよろしくお願いいたします。

現在、神奈川県では、青少年保護育成条例の全面的な改正が進められています。特に、青少年指導員については、委嘱や活動の根拠等が条例に明記される予定ですので、そして、県からは「かながわ青少年健全育成メーラムガジン」等による青少年指導員の活動の一般向けPRや、活動への支援が期待できます。

神奈川県では、昭和43年に青少年指導員が制度化され、すでに40年以上の長い歴史を積み重ねてきています。全国の都道府県と比較して、5千人以上の青少年指導員がボランティアとして活動しているところは他になく、青少年健全育成への取組は全国でも有数のものではないかと感

大切な「いのち」が軽くなっていくような気がしてなりません。

「三つ子の魂百まで」のたとえのとおり、幼いうちからの実体験を通じた教育が必要に思います。北欧の環境教育に学び、幼いうちから森などの自然環境になじませ、そこにある木や草花、昆虫や鳥、ウサギ等々の生態を見て、触ってそのいのちを感じ取る。そういうセセンスを幼少期から醸成させることが大切に思います。今年には愛川ふれあいの村へと企画中です。

青少年とともに



県協議会
副会長
高橋 一夫

青少年の健全育成のために全力で取り組んでいく所存でございます。

さて、情報化社会に生きる今の子どもたちは大人の考え以上に「小さな大人」化していることを忘れてはいけません。

子どもたちは、何も変わっていません。ただ実体験不足です。大人も実践活動・実体験不足なのかもしれません。

是非、実践していただきたいです。

いのちを感じるセセンスを...



県協議会
副会長
石井 一也

近年、虐待による死亡やいじめによる自殺が目立つて増加しています。

社会全体で青少年を守り育てる



県協議会
理事
石橋 博

インターネットや携帯電話の普及などで、青少年を取り巻く環境は、大きく変わってきています。

そもそも青少年をめぐる状況を考える場合には、大人のマナーやモラルの低下という問題をとらえておく必要があります。大人がルールを守らないと、青少年にも分かってもらえない事もでてきます。青少年指導員になってから、小さな信号無視もなくなりました。

子どもは、親の背中を見て育つと言います。大人の責務で、社会全体で青少年を守り育てるといった視点が重要となります。皆で親の背中になりましょう。

子ども達と共に



県協議会
理事
島津 信夫

この度、理事に就任しました。宜しく願います。

昨今、幼児の虐待や中高生が加害者・被害者になる等、青少年を取り巻く環

境は大きく変化し、青少年指導員の地域における活動も多岐に亘って求められるようになりました。

私達の大きな活動は青少年に語りかけること、そして一緒に知恵を出し合い、汗を流す事だと思えます。

できる事はやろう、できる事をやろうで頑張ります。

神奈川の未来のために



県協議会
理事
石井 英明

海・山の素晴らしい自然と、歴史・文化に富んだ神奈川県に住んでいることは私達の誇りです。

可能性に溢れた神奈川の青少年が、心身ともに健やかに大きく成長していけるよう、私達、青少年指導員は行政や地域社会と手を携えて、彼等を支え合っていかなければなりません。

私も早や6期目の任期を迎えましたが、神奈川の未来のためにお役に立てるよう、理事として精一杯努めてまいります。

改めて我々の5つの役割



県協議会
理事
杉本 健二

湘南地域協議会においては、前期の県大会実行委員会が築いた5市3町の和を大切に、研修会での交流や会議での情報交換を通して、より一層各協議会の活動を理解していただけるようにしたいと思います。

県協議会においては、青少年指導員の役割について考えることや県全体という広い視野を持つこと、県と湘南地域のパイプ役になることを目標に、2年間理事を務めていきたいと思っています。

第22期の理事に就任いたしました足柄上地域選出の杉本です。かながわの青少年が、将来に夢と希望を持てる社会を築くことが我々の活動の原点であり①青少年の体験活動の促進②青少年団体の育成と支援③青少年に望ましい地域づくり④青少年に関する相談と対応⑤青少年に関する調査と情報提供の5つの具体的活動を改めて心に深く刻み、今後の活動をしていきたいと思えます。どうぞ宜しくお願いいたします。

22期理事として



県協議会
理事
松本 陽子

平成22年度青少年の健全育成を進める県民大会

平成22年7月10日(土)
厚木市文化会館大ホールに
おいて、「みんなで支えよ
う かながわの青少年」
今、あなたができること」
の大会テーマのもと、平成
22年度青少年の健全育成を
進める県民大会が開催され
ました。

大会のオープニングとし
て、厚木市立厚木中学校の
吹奏楽部による演奏が行わ
れました。

パネルディスカッション



青少年パネリスト

主催者あいさつ



は、「青少年と大人が共に
担う地域の活動を」をテー
マに話し合われ、冒頭、コ
ーディネーターの神奈川大
学の久田講師から、今日は
地域における青少年育成活
動の意味を考えていただき、
明日からでも自分でできる
事を一つここで見つけてほ
しいとお話がありました。

周辺コンビニニ連絡協議会副
委員長の西木さんからは、
「昔は駄菓子屋さんや文房
具屋さん子どもが集まり、
そこでいろんな情報も集ま
った。今で言えばみんなだ
見守って育てていくという
ネットワークだったのが、今
その役割を担っているのが
コンビニだと思う」、また、
森の里地区青少年健全育成
会連絡協議会会長の青木さ
んからは、「子どもとともに
に楽しみ、ともに学び、と
もに育つ、これをテーマに
育成活動が続ければ、子ど
もと関わりながら、私たち
大人も成長できる。それが
まちづくりにつながると思
っている」と意見を述べられ
ました。

青少年パネリストからは、
「挨拶一つだけでも、心が
繋がるのをつくづく実感す
る」「私たちも次の世代と
一緒に良い地域を作りたい」
などの意見が出されました。
最後に久田講師が、青少
年育成活動を将来の地域の
担い手を育てるものと位置
付けることにより、地域社
会の再生を進めて行くこと
ができるのではとまとめら
れ、パネルディスカッショ
ンは終了しました。
この後、平成22年度アピ
ールを読み上げて大会は終
了しました。

横浜F・マリノスと連携し、青少年健全育成の啓発活動を実施!

神奈川県では、県内の市
区町村や様々な青少年関係
団体、事業者の団体と連携
して青少年健全育成に関す
る啓発やキャンペーン活動
などを実施しています。

今年度は、サッカーJリ
ーグの横浜F・マリノスか
ら協力の申し出をいただき、
横浜F・マリノスに所属す
る中村俊輔選手と中澤佑二
選手の試合中の写真をデザ
インしたチラシやポケット
ティッシュ、ポスターを作
成しました。

ただいています。ポケット
ティッシュは、各店頭で配
布していただくほか、街頭
キャンペーンでも配布する
予定です。

中村俊輔選手にご協力い
ただいたチラシは、青少年
を取り巻く社会環境の健全
化を呼びかけるもので、関
係団体や市町村のご協力を
いただき、今年度、県内各
地域で行う街頭キャンペー
ンなどで県民の方々に配布
します。

7月24日(土)には、日
産スタジアム
での横浜F・
マリノスのホ
ームゲーム開
催時に、試合
前イベント会
場でキャンペ
ーンを実施し、
ポスターの掲
示、チラシ等
の配布を行
いました。当日
は猛暑の中、
大勢の親子連
れが訪れ、チ
ラシやポケッ
トティッシュ
の入ったキャ
ンペーキング
ズを、喜んで
受け取って
いただく姿が
印象的でした。

県では、今後も、横浜F・
マリノスをはじめ、市区町

また、中澤佑二選手のご
協力により作成したポスタ
ーとポケットティッシュは、
青少年の喫煙飲酒を防止す
るための年齢確認を呼びか
けるものです。ポスターは、
関係業界団体にご協力いた
だき、県内のスーパー、コ
ンビニエンスストア、たば
こ・酒類販売店、飲食店な
ど約1万2千店において、
7月から店頭に掲示してい

中澤佑二選手

中村俊輔選手

STOP!!

UNDER 20

お酒・たばこ 年齢確認にご協力を!

神奈川県青少年喫煙飲酒防止条例

「目覚めよ、大人。」
インターネット
深夜外出
たばこ・酒類
Z区分のゲームソフト

目覚めよ、大人。

インターネット
深夜外出
たばこ・酒類
Z区分のゲームソフト

あいさつで心のドアをノックする

神奈川県青少年健全育成条例 神奈川県青少年喫煙飲酒防止条例

村・関係団体など、関係の
皆さんと連携しながら、一
般の方々への周知に努めて
いきます。



横浜 親子スケート教室

神奈川県青少年指導員協議会
編集部長 姫野 和義

神奈川県は東西に細長い区です。東部の埋め立て地は工業地帯が広がり、最近では超高層マンションが建ち並びます。中央部は大口や六角橋の商店街と神奈川県学があります。西部は様相が変わって一面のキャベツ畑と森林豊かな緑の多い地域です。「海と緑と丘のまち・かながわ区」での活動を紹介します。

神奈川県役所となりには「神奈川県スケートリンク」が古くからあり、毎年11月に区内の小学生を対象に「親子スケート教室」を開催しています。



初心者向け講習会実施中

気スケート競技の影響か、130名以上が参加しています。当日、スタッフは参加受付をして、スケート靴のチェックと目印の腕章を手渡すのに大忙しです。スケート場内では大人、子どもを問わず初心者の方

めの無料スケート教室がサブリックで開かれ、インストラクターが滑り方から転び方まで丁寧に教えてくれます。その後リンクへ出てみるもすぐに滑れるようになり、初心者には大変喜ばれています。これからは遊びに来たいという子どもが増えています。

リンクでは、保護者の方も子ども達と一緒に競争しながら滑っていました。後で話を聞いたところ、子ども達の頃によくこのスケート場に遊びに来ていたので懐かしかったとのこと。また、これからは子どもを連れて遊びに来たいと話をしていただきました。少なくなっているスケート場は、地域の大切な施設であり、交流の場であることを痛感しました。

川崎 市民祭りに向けて

川崎区青少年指導員連絡協議会
会長 井上 幸男

川崎区青少年指導員連絡協議会は3地区の青少年指導員会で構成しています。それぞれの地区で特色ある活動を行っています。区の事業として3地区の指導員会が協力して参加するものが「かわさき市民祭り」です。

昨年は、10月30日から11月1日の3日間、富士見公園とその周辺で開催され、区の連絡協議会も後半の2日間に延べ100名の指導員が参加しました。親子で一緒に作り楽しむ「親子クラフト教室」では、子どもに正しいナイフの使

い方を教えるという始めた「竹とんぼ作り」に426人。マカロニをボンドで固めて金か銀のスプレーを吹きつけるクリスマス飾り「マカロニリース」に286人。タオルを丸めて糸でしばりフェルトで顔を作る「タオル犬」に292人。芸能界まで広まる薬物の怖さ・恐ろしさを知ってもらうため「キャラバンカー」を配置しての「薬物乱用防止キャンペーン」に約350人。青少年に音楽やダンスの発表の場を提供し、みんなが楽しむ音楽イベント「夢ライヴ」には1日だけで約400人。合計で1754人の参加がありました。



作った竹とんぼ！ さっそく飛ばそう!!

員ですが、市民祭りに来場される皆さんが楽しいひとときを過ごし、思い出を持ち帰る事になれば健全育成に繋がる活動になると思いい、今年も10月30日(土)31日(日)に参加します。

活動ガンバっています！

～ 地域活動報告 ～

相模原 明るく、元気に、 楽しく

相模原市青少年指導員連絡協議会
会長 島津 信夫

相模原市の青少年指導員は27地区に分かれて活動しています。

各地区のこともまつり、公民館まつり、ふるさとまつり、健全育成事業など、様々な活動を展開しています。市連絡協議会の活動としては市民まつり、子ども会交歓スポレク、親子ふれあいの広場の三つがあります。さらさら満開の中、平成22年4月3日・4日に行われた市民桜まつりには216名の指導員の参加を得て、創作、さかなまつり、バンブーダンス、スポーツチャン

県央 地道だが大きな活動

厚木市青少年指導員連絡協議会
会長 堀田 哲郎

厚木市青少年指導員は市内15公民館区から推薦された110名で構成され、人口に応じ分散して活動しています。

指導員としての研修会や部会活動に参加すると同時に、各地域の青少年健全育成会の主要メンバーとして子どもたちの健全育成に尽力しています。

連絡協議会としては、毎年5月に開催する少年少女フェスティバルを運営しています。この行事は、おもちゃを手作りして遊ぼうというもので、十数年前にバタフライナイフで子どもた



ふれあいながら竹笛づくり

ちが傷つけあうといった悲惨な事件が多発したことを受けて、ナイフは道具として使えば便利なものなんだよということを教えるために始めました。十七、八種類のおもちゃの作り方、遊び方を通じて子どもたちと触れ合います。

したがリピーターも多く、来場者は毎年千人を超えます。この行事はもろろんのこと、さまざまなイベントに引っぱりだこなのが、ジュニアリーダーズクラブ(以下ジュニア)のメンバーです。中学校区ごとに250名ほどの若い力が、子どもと大人の橋渡し役として活躍しています。青少年指導員は子ども会役員と共に彼らの相談役に就いています。ジュニアの相談にのりながら、活動しやすい状況を模索し、提供するのも私たちの役割です。

生活形態が変わり、親子や近所との関係が薄れていく今、我々の小さいながらも地道な活動は意義深いものだと思います。がんばりましょう。

バラの四つのコーナーでも子ども達と交流しました。各コーナーとも子ども達の行列ができ、また、材料が途中で切れて補充するなど、指導・整理と、明るく元気に楽しく進められ、4500名を超える子ども達も参加してくれました。また予想以上に盛り上がった事は嬉しい限りです。

また、5月に行われた子ども会交歓スポレクでも、大勢の子ども達に囲まれて楽しい一日を過ごすことができました。今後は11月に開催される親子ふれあいの広場に向けての準備を進めて行くところです。

相模原市の特徴をひとつ紹介します。私達の連絡協議会では、日頃の活動は各地区内であり、全員が集まって交流する場がなかなかない、そこで交流の場を作ろうとミニ運動会を設けています。

企画から運営まで事業企画部員が中心となり、一日を楽しく過ごし、交流も図れる場としています。

「汗かき・恥かき・頭かき」をモットーに。



市民桜まつり「さかなつりコーナー」

子どもとテレビ、ゲーム 「上手なつき合い方」を考えてみませんか？

私たちが日常的に接するテレビやゲームなどのメディアは、楽しくて便利な道具です。忙しい毎日の中で、保護者や家族はつい、テレビやゲームに「子守り」をさせてしまいがちです。けれども、幼いころから過度な接し方を続けていると、生活や行動への影響も心配されます。

子どもたちがメディアと上手につき合えるようになるために、日ごろの活動の中で保護者・家族や子どもと一緒に考えたり、「意識しながら生活する」ことを呼びかける取組を始めてみませんか！

*テレビ、ビデオ、ゲーム機、パソコン、携帯電話などの情報機器

（啓発冊子の紹介）

平成20・21年期神奈川県青少年問題協議会では、おもに乳幼児期から小学校低学年期の子どものいる保護者・家族向けに、啓発用小冊子を作成しました。「子ども部屋にテレビやゲームを置かない」などの取組例を紹介しています。また、



<NPOや地域コミュニティに向けたメッセージ> (報告書より)

- ◇ 子どもとメディアの問題は、NPOや地域コミュニティが中心的役割を担うことによって、議論が活性化していくことが期待されています。
- ◇ NPOや地域コミュニティの「地縁」という利点を生かして、社会的なつながりの少ない家庭や子どもへの啓発や情報提供にも取り組んでみませんか。
- ◇ 子育て全般について、NPOや地域コミュニティならではの行動力と発案力、きめ細やかなサポートで、保護者同士が理解し支え合えるような仕組みづくりを進めませんか。

子どもとメディアとの関わりについて検討した結果を報告書にまとめました。ぜひ活用ください。

県青少年問題協議会ホームページアドレス（啓発冊子等を掲載しています）

http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/seisyonen/seimokenkyo/index.html

【啓発冊子の配布等に関する問い合わせ先】

県青少年課
045(210)3840

第43回 青少年指導員大会開催

平成22年度神奈川県青少年指導員大会は、11月14日(日) 12時50分から、川崎市の高津市民館大ホールで開催されます。大会テーマは「やさしい心 思いやる心 つなげよう地域の力!」。川崎市の7つの区の青少年指導員が力を合わせて、大会の準備を進めています。

講演会では、インタナーネットの危険性について、保護者や青少年を対象に広く啓発や相談を行っていらっしゃる田島和彦氏を講師に迎えます。実際のトラブル事例などを具体的にご紹介いただきながら、情報化社会に生きる青少年が巻き込まれる問題についてお話しただく予定です。活動事例発表は、川崎区

と麻生区の青少年指導員の皆さんに、日ごろの取組をご紹介いただきます。会場は、JR南武線「武蔵溝ノ口」、東急田園都市線「溝の口」駅前「ノクテイ2」(マルイ溝ノ口)です。専用の駐車場がありませんので、お越しの際は公共交通機関をご利用ください。



かもめ通信

(平成22年10月・23年3月の予定)

- ◆横浜市
 - つるみ臨海フェスティバルにおける「手づくりりんごごま体験」「手づくり紙トンボ体験」
 - 10月23日(土) 10～15時(荒天時24日)
 - 鶴見区入船公園野球場
- 泉区青少年フェスティバル
- 11月28日(日) 10時
- 泉区役所遊水地4池
- 中学生による「カレー大会」
- ペットボトルロケット大会

- ◆川崎市
 - 10月無灯火自転車指導活動
 - 10月7日(木) 19時(雨天中止)
 - 川崎区南町交番前
 - 中央地区青少年指導員会が毎年春・秋年2回実施している無灯火自転車に対する指導活動を10月の定例会開催前に実施。警察との連携により、チラシやウェットティシュー等を配布しながら啓発活動を行う。
 - 多摩川ファミリーウォーキング
 - 11月
 - 多摩川土手

大師地区の子どもと保護者または団体引率者を対象に開催。大師公園を発着とし、多摩川(大師橋・六郷橋)を經由。

- 青少年書き初め大会
- 23年1月9日(日)
- 川崎市立大師小学校
- 大師地区の幼児・高校生を対象に、6種の題字を設け実施。後日、優秀作品を選定・通知し、表彰を行う。
- 第5回子どもとふれあう紙ヒコキ大会
- 23年2月27日(日)
- 川崎市立下平間小学校体育館(予定)

- ◆座間市
 - 第34回座間市青少年健全育成大会
 - 11月20日(土)
 - ハーモニホール座間
 - 第31回座間市青少年芸術祭展示部門「青少年美術展」
 - 23年2月26日(土)・27日(日)
 - 対象は小学生から30歳までの青少年で、市内在住・在学・在勤者

- ◆藤沢市
 - JUMP UP U-20 WINTER CONCERT
 - 12月11日(土) 13時30分
 - 開演予定
 - 藤沢市労働会館
 - 20歳以下の青少年バンドによるロック・ポップスコンサート

- ◆横須賀市
 - わんぱくフェスティバル
 - 2010
 - 10月24日(日)

青少年保護育成条例改正骨子案の意見募集結果

県では、4月21日～5月20日に「青少年保護育成条例改正骨子案」についての意見募集を行い、募集用紙や県ホームページを通じて、238人の方から573件のご意見をいただきました。青少年指導員など青少年の健全育成活動に関わる皆さまからも多くのご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。

○ご意見の主な内容

条例改正全体について	44件
総則(目的、基本理念、関係者の責務など)	64件
社会環境の整備関係(有害図書、有害営業など)	115件
健全育成阻害行為の制限関係(青少年の深夜外出など)	78件
インターネット環境の整備関係(携帯電話、インターネットなど)	155件
関係者の協力関係(青少年指導員、青少年の立ち直り支援など)	39件
啓発についてのアイデア	29件
その他	49件

寄せられたご意見やご提案は、「かながわ県民意見反映手続」に基づくパブリック・コメントとして、条例の見直しを進める参考としています。(詳しい結果は、県青少年課のホームページからご覧いただけます。)

編集後記

つばさ編集委員

猪俣 武雄

「つばさ」第43号をお届けします。

第22期編集委員に新たに選任されました5名で、「つばさ」の発行を担当いたします。

第43号「つばさ」の発行につきましては、前期の編集委員会で、「かもめ通信」の掲載基準を定めるとともに、3面の「地域活動報告」に、なるべく多くの地域の報告がで

きるように検討し、ローテーション等の見直しを行い決定しました。今後は、より多くの活動状況を皆さまにお知らせし、地域での青少年健全育成活動にお役に立てば幸いです。今後ともよろしくお願いたします。

「つばさ」第22期編集委員
猪俣 武雄 横浜地域
鈴木 浩子 川崎地域
平尾 正之 県央地域
石田 陽子 西湘地域
石井 英明 担当理事